

瀬戸内町告示第34号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により、平成27年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成27年10月30日

瀬戸内町長 鎌田 愛人



平成27年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

財政動向及び財政方針	1
1 平成26年度 決算のあらまし	2
(1) 概要	2
(2) 各会計実質収支の状況	2
(3) 一般会計歳入の状況	8
(4) 一般会計歳出の状況	10
(5) 町債の状況	12
2 平成27年度 上半期財政運営のあらまし	13
(1) 予算の規模	13
(2) 予算の執行状況	15
3 町有財産の状況	17

I 財政動向及び財政方針

本町では、町民の皆様には町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、平成26年度決算及び平成27年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

本町の財政状況は、平成26年度決算において、一般会計は災害復旧費の減少などにより前年度に対し決算総額が減となりました。また、特別会計は前年度に引き続き全会計において赤字決算はありませんでしたが、その内容は一般会計からの多額に上る赤字補てん繰出金による改善です。依然、独立採算の原則に基づく各会計の自立が課題となっています。

このような財政状況の中、本町としましては国や県の動向に注視しながら、町民の皆様が将来にわたり安心して暮らせる町づくりを目指し、産業の振興・交通手段や生活環境の整備・高齢者等の福祉医療の確保・教育文化の振興対策を鋭意進めてきました。

平成27年度上半期の財政状況については、財政基盤が脆弱な状況にある中、歳入に見合った予算規模を堅持し、投資的事業の平準化や規模適正化による総量の維持・縮減や町負担額の最小限に努め、財政需要に応えつつも財政基盤の強化を図ってきました。

今後、大規模な施設建替え事業や、老朽化対策に伴う維持補修などの計画があり、かかる費用は膨大となる見込みですが、長期的視野で計画的に資産再構築に取り組み、財政の悪化を回避するよう努力していきます。

国においても、「経済財政運営と改革の基本方針2015」の中で、「まち・ひと・しごとの創生と地域の活性化」を重点課題の一つと捉え、地方に対し効果的かつ効率的に財政支援を行うこととしているため、今後もさらに町民とともに地理的・歴史的独自性を発揮した魅力ある町づくりを実現するために今何をすべきかを長期的な視点から捉え、限られた財源で最大限の効果をあげていきたいと考えています。

1 平成26年度決算のあらまし

(1) 概要

平成26年度の各会計決算総額(水道事業を除く)は、歳入総額13,465,949千円に対し、歳出総額12,736,518千円で、差引729,431千円の黒字となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源63,837千円を差し引いた実質収支は665,594千円となっています。

(2) 各会計実質収支の状況

1). 一般会計

平成26年度一般会計歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 9,263,873 千円に対し、歳入9,312,973千円、歳出 8,708,910 千円となり、前年度に比べ歳入で 1,187,452 千円、11.3%の減、歳出で1,126,313 千円、11.5%の減となりました。

決算収支は、歳入歳出差し引き 604,063 千円の黒字で、翌年度へ繰り越すべき財源 63,837 千円を差し引いた実質収支も 540,226 千円の黒字となっています。また、実質収支額から平成25年度の実質収支額637,552千円を差し引いた平成26年度の単年度収支額は97,326千円の赤字となっています。この単年度収支額に財政調整基金の積立金334,423千円を加え、財政調整基金の取崩額191,723千円を差し引いた、実質単年度収支額は45,374千円の赤字となっています。

(単位：千円)

一 般 会 計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
26年度	9,312,973	8,708,910	604,063	63,837	540,226	△ 97,326
25年度	10,500,425	9,835,223	665,202	27,650	637,552	257,056
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
26年度	334,423	0	191,723		45,374	
25年度	301,504	0	42,309		516,251	

2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 260,303千円に対し、歳入265,146千円、歳出 251,222千円、差し引き 13,924千円の黒字となっています。

単年度収支については 4,683千円の赤字となっています。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
26年度	265,146	251,222	13,924	0	13,924	△ 4,683
25年度	274,922	256,315	18,607	0	18,607	14,093
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
26年度	0	0	0		△ 4,683	
25年度	0	0	0		14,093	

3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,612,967 千円に対し、歳入 1,621,733 千円、歳出 1,601,271 千円、差し引き 20,462 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。

なお、単年度収支についても 10,124 千円の黒字となっており主な要因は、赤字解消10カ年計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

次に、国民健康保険直営診療勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 17,506 千円に対し、歳入 20,759 千円、歳出 16,009 千円で、差し引き 4,750 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。なお、単年度収支についても 616 千円の黒字となっています。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
26年度	1,621,733	1,601,271	20,462	0	20,462	10,124
25年度	1,697,042	1,686,704	10,338	0	10,338	115,664
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
26年度	0	0		0	10,124	
25年度	0	0		0	115,664	

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
26年度	20,759	16,009	4,750	0	4,750	616
25年度	20,771	16,637	4,134	0	4,134	487
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
26年度	0	0		0	616	
25年度	0	0		0	487	

4). 介護保険特別会計

介護保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,521,923 千円に対し、歳入 1,522,964 千円、歳出 1,476,721 千円、差し引き 46,243 千円の黒字となっています。黒字の主な要因は国・県支出金の増及び保険給付金の減によるものです。

なお、単年度収支についても 6,093 千円の黒字となっています。

(単位：千円)

介護保険特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
26年度	1,522,964	1,476,721	46,243	0	46,243	6,093
25年度	1,543,907	1,503,757	44,212	0	40,150	△ 4,062
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
26年度	0	0	0		6,093	
25年度	0	0	0		△ 4,062	

5). 後期高齢者医療事業特別会計

平成20年度から設置された後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 116,047 千円に対し、歳入 112,866 千円、歳出 110,853 千円、差し引き 2,013 千円の黒字となっています。単年度収支についても 409 千円の黒字となっています。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
26年度	112,866	110,853	2,013	0	2,013	409
25年度	111,282	109,678	1,604	0	1,604	△ 328
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
26年度	0	0	0		409	
25年度	0	0	0		△ 328	

6). 屠畜場事業特別会計

屠畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 2,433 千円に対し、歳入・歳出同額の 1,868 千円となっています。歳出の主なものは、総務管理費の賃金や営業費の中の需用費等(電気料・水道料・修繕費・燃料費)です。

(単位：千円)

屠畜場事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
26年度	1,868	1,868	0	0	0	0	0
25年度	2,060	2,060	0	0	0	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
26年度	0	0	0		0		
25年度	0	0	0		0		

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 286,170 千円に対し、歳入 274,693 千円、歳出 254,412 千円、差し引き 20,281 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支でも同額の黒字となっています。

なお、単年度収支についても 8,423 千円の黒字となっており、主な要因は、県支出金、諸収入及び繰越金の増によるものです。

歳出の主なものは、総務管理費として 23,081 千円、せとなみ費として 97,279 千円、フェリーボート費として 110,036 千円、公債費として 23,559 千円となっています。歳入では、せとなみ・フェリーボート運航収入として 137,823 千円、国・県補助金として 104,857 千円、その他一般会計からの繰入金や収入等 32,012 千円となっています。

(単位：千円)

船舶交通事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
26年度	274,693	254,412	20,281	0	0	20,281	8,423
25年度	279,010	267,152	11,858	0	0	11,858	966
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
26年度	0	0	0		8,423		
25年度	0	0	0		966		

8). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 3,096 千円に対し、歳入 3,095 千円、歳出 2,445 千円、差し引き 650千円の黒字となっています。黒字の主な要因は、上屋使用料、諸収入及び繰越金によるものです。なお、単年度収支については440千円の赤字となっています。

(単位：千円)

古仁屋港上屋事業特別会計								
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D	E	
26年度	3,095	2,445	650		0	650		△ 440
25年度	3,524	2,434	1,090		0	1,090		△ 485
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I		
26年度	0	0			0	△ 440		
25年度	0	0			0	△ 491		

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 21,082 千円に対し、歳入 21,055 千円、歳出 18,840 千円で、差し引き 2,215 千円の黒字となっています。翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。主な要因は、繰越金の増、公債費の減のほか、経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

(単位：千円)

農業集落排水事業特別会計								
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D	E	
26年度	21,055	18,840	2,215		0	2,215		210
25年度	27,342	25,337	2,005		0	2,005		△ 711
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I		
25年度	0	0			0	210		
24年度	0	0			0	1,489		

10). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 305,689 千円に対し、歳入 308,797 千円、歳出 293,967 千円となり、差し引き 14,830 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支でも同額の黒字となっています。なお、単年度収支についても1,497 千円の黒字となっており、主な要因は経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
26年度	308,797	293,967	14,830		0	14,830	1,497
25年度	228,978	215,645	13,333		0	13,333	6,209
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
26年度	0	0			0	1,497	
25年度	0	0			0	934	

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額 169,235 千円に対し決算額 162,922千円、支出予算額 202,081 千円に対し決算額 190,009 千円となり、差し引き 27,087 千円の当年度純損失が生じていますが、損益計算書での当年度純損失 26,958 千円との差額 129 千円は、消費税相当分です。

一方、資本的収支においては、収入予算額 20,002 千円に対し決算額 15,498 千円、支出については、予算額68,146 千円に対し決算額 51,149 千円となり、差し引き 35,651 千円の収入不足となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、過年度分損益勘定留保資金 34,317 千円、当年度分消費税資本的収支調整額 1,334 千円を充当して補填しています。

(単位：千円)

年度	収益的収入	収益的支出	差 引	資本的収入	資本的支出	差 引
26年度	162,922	190,009	△ 27,087	15,498	51,149	△ 35,651
25年度	159,795	159,456	339	0	31,317	△ 31,317

(3) 一般会計歳入の状況

平成26年度一般会計の歳入決算額は 9,312,973千円で前年度に比べ11.3%の減となっている。

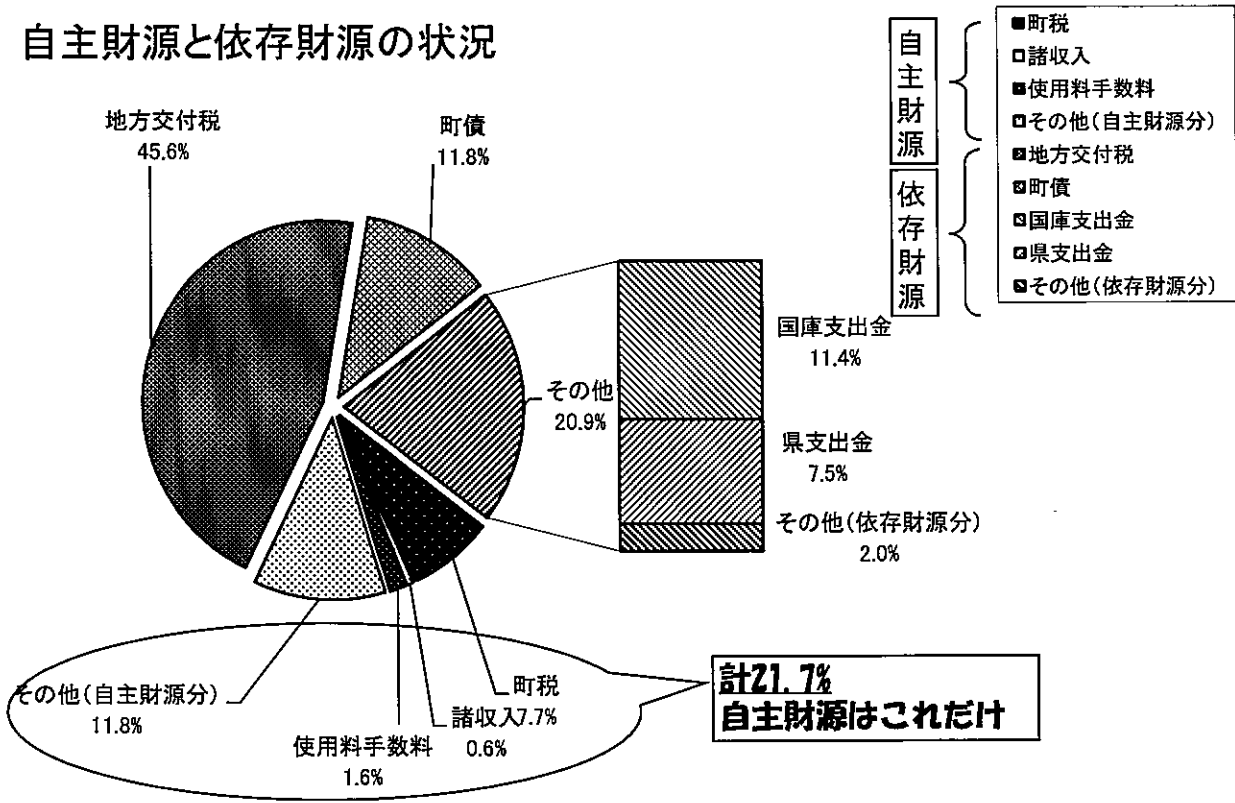
また、歳入を財源別にみると、自主財源(町税, 使用料及び手数料, 繰入金等)が 2,037,527 千円で21.8%, 依存財源(地方交付税, 国県支出金, 町債等)が 7,275,446 千円で78.2%となっており, 自主財源が前年度に比べ28.9%の増, 依存財源が前年度に比べ18.4%の減となっており, 依存財源のしめる割合が減少している。

(歳入決算目的別内訳)

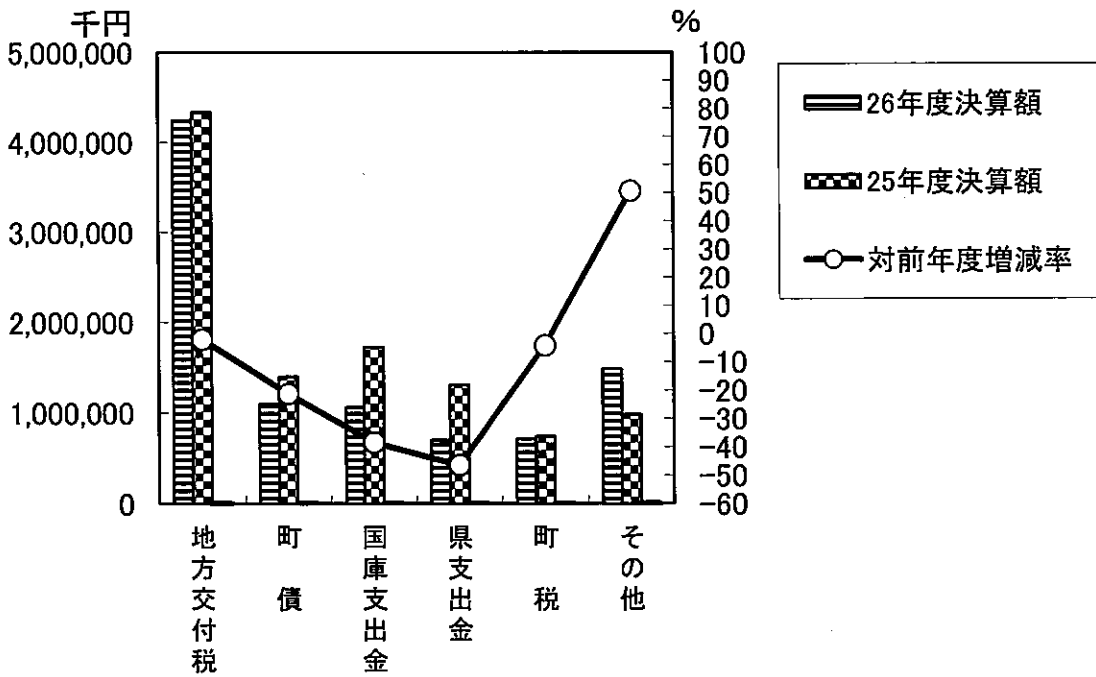
(単位:千円, %)

歳入区分	平成26年度		平成25年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	713,572	7.7	743,974	7.1	△ 30,402	△ 4.1
2 地 方 譲 与 税	52,871	0.6	55,591	0.5	△ 2,720	△ 4.9
3 利 子 割 交 付 金	1,204	0.0	1,296	0.0	△ 92	△ 7.1
4 配 当 割 交 付 金	3,444	0.1	885	0.0	2,559	289.2
5 株式譲渡所得割交付金	2,361	0.1	1,498	0.0	863	57.6
6 地方消費税交付金	97,649	1.0	79,426	0.8	18,223	22.9
7 自動車取得税交付金	3,549	0.1	8,517	0.1	△ 4,968	△ 58.3
8 地方特例交付金	858	0.0	1,021	0.0	△ 163	△ 16.0
9 地 方 交 付 税	4,245,786	45.6	4,331,600	41.3	△ 85,814	△ 2.0
10 交通安全対策特別交付金	1,408	0.1	1,556	0.0	△ 148	△ 9.5
11 分担金及び負担金	38,780	0.4	44,319	0.4	△ 5,539	△ 12.5
12 使用料及び手数料	151,460	1.6	137,757	1.3	13,703	9.9
13 国 庫 支 出 金	1,064,130	11.4	1,729,381	16.5	△ 665,251	△ 38.5
14 県 支 出 金	701,541	7.5	1,310,066	12.5	△ 608,525	△ 46.4
15 財 産 収 入	41,209	0.4	45,030	0.4	△ 3,821	△ 8.5
16 寄 付 金	15,323	0.2	11,928	0.1	3,395	28.5
17 繰 入 金	342,243	3.7	68,589	0.7	273,654	399.0
18 繰 越 金	665,202	7.1	448,757	4.3	216,445	48.2
19 諸 収 入	69,738	0.6	80,394	0.8	△ 10,656	△ 13.3
20 町 債	1,100,645	11.8	1,398,840	13.3	△ 298,195	△ 21.3
歳入合計	9,312,973	100.0	10,500,425	100.1	△ 1,187,452	△ 11.3

自主財源と依存財源の状況



平成26年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

平成26年度一般会計の歳出決算額は8,708,910千円で前年度に比べ11.5%減となっている。

また、歳出額を性質別にみると義務的経費(人件費、扶助費、公債費等)が3,425,261千円で39.4%、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧事業費等)が2,136,063千円で24.6%、その他(物件費、補助費、維持補修費、繰出金等)が3,147,586千円で36.2%となっており、それぞれ前年度に比べ1.0%増、34.7%減、0.8%減となっている。

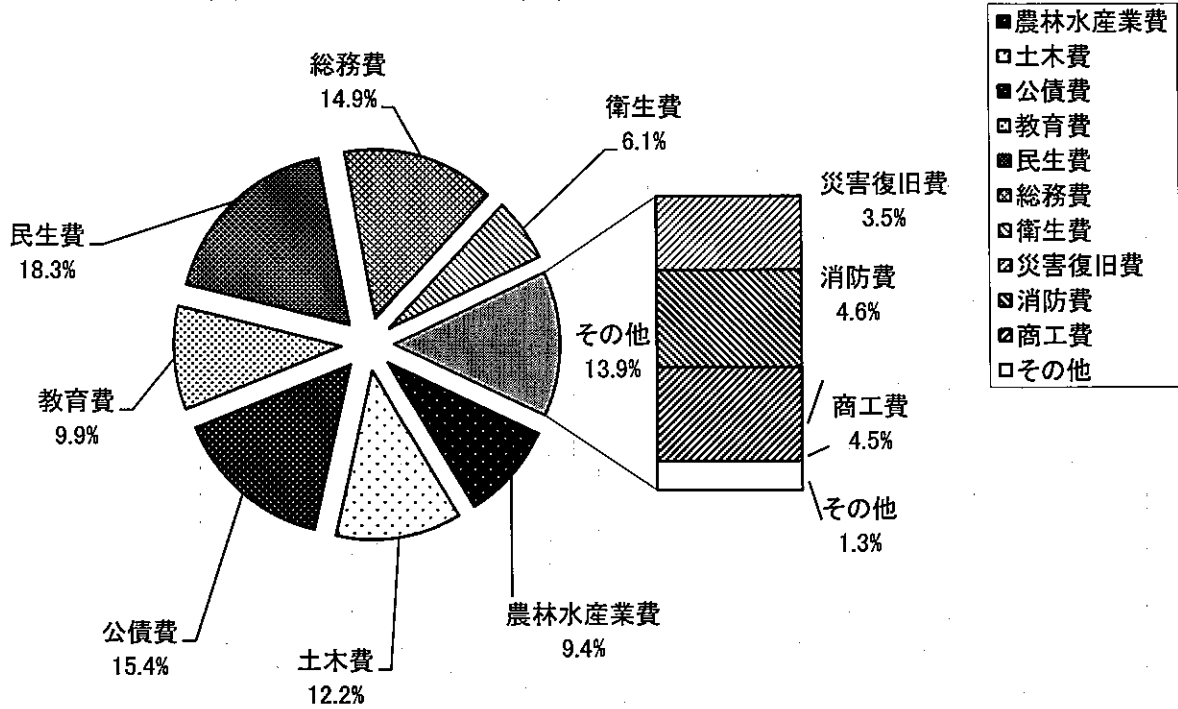
また、目的別の歳出額については下表のとおりとなっている。

(歳出決算目的別内訳)

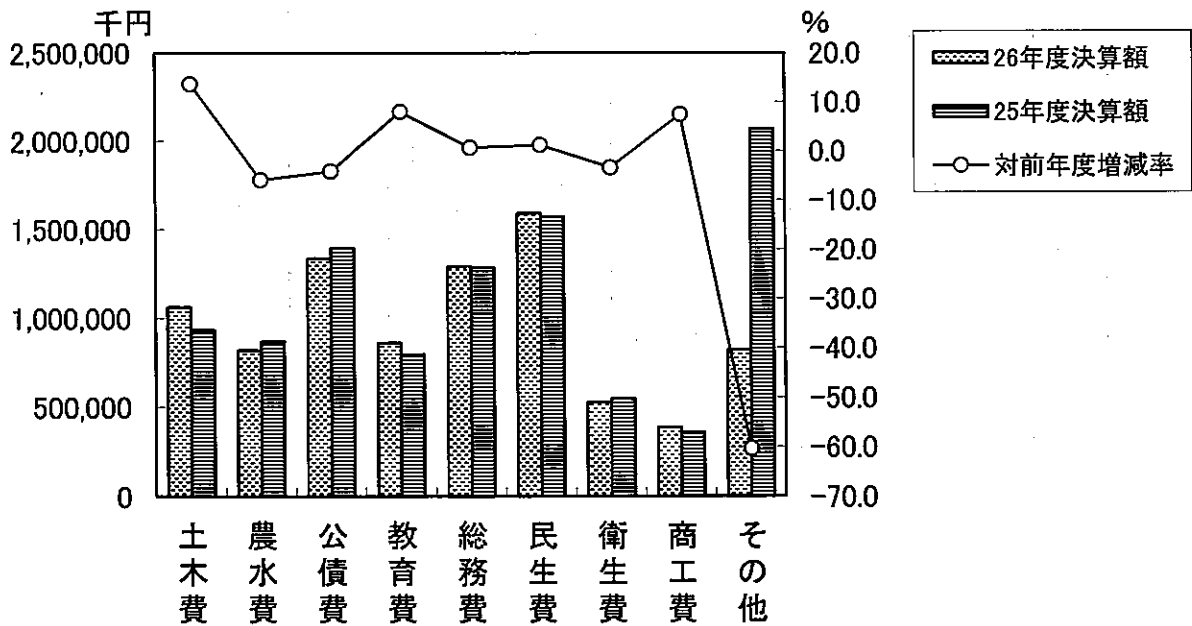
(単位:千円, %)

歳出区分	平成26年度		平成25年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議会費	92,676	1.1	93,796	1.0	△ 1,120	△ 1.2
2 総務費	1,295,247	14.9	1,286,109	13.1	9,138	0.7
3 民生費	1,592,367	18.3	1,572,730	16.0	19,637	1.2
4 衛生費	528,401	6.1	546,757	5.7	△ 18,356	△ 3.4
5 労働費	7,914	0.1	8,745	0.1	△ 831	△ 9.5
6 農林水産業費	819,470	9.4	870,521	9.0	△ 51,051	△ 5.9
7 商工費	388,569	4.5	361,634	3.7	26,935	7.4
8 土木費	1,063,422	12.2	935,564	9.5	127,858	13.7
9 消防費	399,021	4.6	365,270	3.7	33,751	9.2
10 教育費	861,880	9.9	797,894	8.1	63,986	8.0
11 災害復旧費	302,523	3.5	1,569,506	16.0	△ 1,266,983	△ 80.7
12 公債費	1,339,276	15.4	1,396,556	14.2	△ 57,280	△ 4.1
13 諸支出金	18,144	0.1	30,141	0.3	△ 11,997	△ 39.8
14 予備費						
歳出合計	8,708,910	100.1	9,835,223	100.4	△ 1,126,313	△ 11.5

平成26年度一般会計目的別経費の状況



平成26年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

町債は、道路や港湾施設等、住民が長期にわたって恩恵を受ける施設等の建設財源として、町が借り入れる長期借入金であるが、その借り入れ、償還の状況は次の通りとなっている。

町債の借り入れ、償還、現在高の状況

(単位:千円)

会計別	平成25年度 末現在高 A	平成26年度 発行額 B	平成26年度償還 額 C	平成26年度末 現在高 A+B-C
(一般会計)	11,375,627	1,100,645	1,224,757	11,251,515
(特別会計)	1,309,562	80,000	82,254	1,307,308
巡回診療	146,384		8,576	137,808
国保直診	0	0	0	0
船舶	28,554	0	23,525	5,029
上屋	25,951	0	1,398	24,553
農業集落排水	136,086	0	8,248	127,838
簡易水道	972,587	80,000	40,507	1,012,080
合計	12,685,189	1,180,645	1,307,011	12,558,823

上水道	729,552	0	33,145	696,407
-----	---------	---	--------	---------

2 平成27年度上半期財政運営のあらまし

平成27年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

(1) 予算の規模(繰越明許費は除く)

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	平成27年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	8,028,825	819,638	8,848,463	65.6
(特別会計)	4,503,648	128,671	4,632,319	34.4
巡回診療	306,587	△ 34,305	272,282	2.0
国保事業	1,725,499	81,837	1,807,336	13.4
国保直診	17,414	18	17,432	0.1
介護保険	1,476,948	53,426	1,530,374	11.4
後期高齢	114,225	2,011	116,236	0.9
屠畜場	2,239	0	2,239	0.0
船舶	540,207	8,822	549,029	4.1
上屋	2,606	50	2,656	0.0
農業集落排水	22,798	2,214	25,012	0.2
簡易水道	295,125	14,598	309,723	2.3
合計	12,532,473	948,309	13,480,782	100.0

上水道事業	平成27年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	166,999	0	166,999
収益的支出	148,103	△ 3,163	144,940
資本的収入	2	49,999	50,001
資本的支出	55,061	102,034	157,095

一般会計予算款別補正状況
(歳入)

(単位:千円、%)

会計別	平成27年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	707,130		707,130	8.0
地 方 譲 与 税	55,467		55,467	0.6
利 子 割 交 付 金	1,296		1,296	0.0
配 当 割 交 付 金	885		885	0.0
株式等譲渡所得割交付金	1,498		1,498	0.0
地方消費税交付金	79,426		79,426	0.9
自動車取得税交付金	8,517		8,517	0.1
地方特例交付金	858		858	0.0
地 方 交 付 税	3,781,310	99,383	3,880,693	43.9
交通安全対策特別交付金	1,556		1,556	0.0
分担金及び負担金	21,718	175	21,893	0.2
使用料及び手数料	157,928		157,928	1.8
国 庫 支 出 金	784,291	84,058	868,349	9.8
県 支 出 金	489,635	163,078	652,713	7.4
財 産 収 入	37,969	3,469	41,438	0.5
寄 付 金	5,002	25,000	30,002	0.3
繰 入 金	115,352	△ 55,999	59,353	0.7
繰 越 金	1	540,225	540,226	6.1
諸 収 入	65,389	126,846	192,235	2.2
町 債	1,713,597	△ 166,597	1,547,000	17.5
合 計	8,028,825	819,638	8,848,463	100.0

(歳出)

(単位:千円、%)

会計別	平成27年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	96,265	△ 588	95,677	1.1
総 務 費	765,627	349,299	1,114,926	12.6
民 生 費	1,371,224	81,272	1,452,496	16.4
衛 生 費	660,318	△ 3,081	657,237	7.4
労 働 費	8,098	843	8,941	0.1
農 林 水 産 業 費	632,324	148,998	781,322	8.8
商 工 費	189,831	34,737	224,568	2.5
土 木 費	988,907	18,892	1,007,799	11.4
消 防 費	353,944	37,888	391,832	4.4
教 育 費	1,438,287	13,942	1,452,229	16.4
災 害 復 旧 費	145,356	137,436	282,792	3.2
公 債 費	1,356,644		1,356,644	15.3
諸 支 出 金	2,000		2,000	0.0
予 備 費	20,000		20,000	0.2
合 計	8,028,825	819,638	8,848,463	100.0

(2) 予算の執行状況

平成27年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (平成27年9月30日現在) (単位:千円、%)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	8,848,463	4,419,737	49.9	8,848,463	2,978,269	33.7
(特別会計)	4,632,319	1,552,798	33.5	4,632,319	1,783,162	38.5
巡回診療	272,282	100,118	36.8	272,282	118,294	43.4
国保事業	1,807,336	654,492	36.2	1,807,336	826,651	45.7
国保直診	17,432	7,806	44.8	17,432	5,577	32.0
介護保険	1,530,374	630,777	41.2	1,530,374	604,782	39.5
後期高齢	116,236	26,468	22.8	116,236	24,543	21.1
屠畜場	2,239	256	11.4	2,239	1,429	63.8
船舶	549,029	85,401	15.6	549,029	118,315	21.5
上屋	2,656	723	27.2	2,656	1,471	55.4
農業集落排水	25,012	5,166	20.7	25,012	13,701	54.8
簡易水道	309,723	41,591	13.4	309,723	68,399	22.1
合計	13,480,782	5,972,535	44.3	13,480,782	4,761,431	35.3

(単位:千円、%)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
収益的収支	166,999	66,273	39.7	144,940	27,686	19.1
資本的収支	50,001	0	0.0	157,095	18,880	12.0

平成27年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	707,130	396,311	56.0
地 方 譲 与 税	55,467	16,096	29.0
利 子 割 交 付 金	1,296	552	42.6
配 当 割 交 付 金	885	546	61.7
株式等譲渡所得割交付金	1,498	0	0.0
地方消費税交付金	79,426	102,021	128.4
自動車取得税交付金	8,517	1,215	14.3
地方特例交付金	858	912	106.3
地 方 交 付 税	3,880,693	2,959,320	76.3
交通安全対策特別交付金	1,556	0	0.0
分担金及び負担金	21,893	5,671	25.9
使用料及び手数料	157,928	65,955	41.8
国 庫 支 出 金	868,349	105,175	12.1
県 支 出 金	652,713	49,723	7.6
財 産 収 入	41,438	15,379	37.1
寄 付 金	30,002	29,070	96.9
繰 入 金	59,353	0	0.0
繰 越 金	540,226	540,226	100.0
諸 収 入	192,235	130,748	68.0
町 債	1,547,000	0	0.0
歳 入 合 計	8,848,463	4,418,920	49.9

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	95,677	51,151	53.5
総 務 費	1,114,926	402,690	36.1
民 生 費	1,452,496	491,767	33.9
衛 生 費	657,237	212,486	32.3
労 働 費	8,941	4,192	46.9
農 林 水 産 業 費	781,322	210,661	27.0
商 工 費	224,568	113,187	50.4
土 木 費	1,007,799	285,470	28.3
消 防 費	391,832	156,770	40.0
教 育 費	1,452,229	355,795	24.5
災 害 復 旧 費	282,792	34,006	12.0
公 債 費	1,356,644	660,185	48.7
諸 支 出 金	2,000	0	0.0
予 備 費	20,000	0	0.0
歳 出 合 計	8,848,463	2,978,360	33.7

3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

【一般会計】

i) 公有財産

(1) 行政財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	275.94	0.00
公共用 財産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	176,294.93	30,304.08
計		486,518.39	115,277.05

(2) 普通財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

建 物		
		2,310.60
土 地	宅 地	59,100.87
	田	3,480.00
	畑	12,654.19
	原 野	4,501,272.83
	山 林	6,851,247.00
	雑種地	81,700.96
	墓 地	78,817.90
	保安林	754,582.75
計		12,345,167.10

林 野	12,107,102.58
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

② 有価証券 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
株 券	12,440

③ 出資による権利 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	325,806

ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	6
普 通 貨 物	5
小 型 乗 用	12
小 型 貨 物	10
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	17
特 殊 用 途 車	12
大 型 特 殊 車	15
軽 (四 輪 貨 物)	28
軽 (四 輪 乗 用)	17
船 舶	3
原 付	3
合 計	128

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 846,222
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 330,000
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 0
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 9,193
	債 権 22,215
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 22,873
	物 品 31,507
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 3,922
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
青 少 年 育 成 基 金	預 金 現 金 164
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 180,000
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 35,896
	債 権 7,845
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 25,803
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 10,914
特 別 水 産 業 対 策 基 金	預 金 現 金 10,000
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 4,893
	物 品 5,113
酒 造 用 含 み つ 糖 生 産 対 策 補 給 基 金	預 金 現 金 3,000
災 害 対 策 準 備 基 金	預 金 現 金 1,093
計	1,591,974

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	2隻(279.00ト)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

ii) 物 品

区 分	現 在 高	
巡回診療会計	車 両	4台
	レントゲン	2台
計	6台	

iii) 基 金 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	222
船舶建造基金	4,780
計	5,002